

レポートによせられた御意見・御提言

多数の御意見・御感想をいただき、御協力ありがとうございました。以下に、御意見と御質問の一部を御紹介いたします。なお、今回、掲載させていただいた御意見以外のものはできるだけ反映させていただきました。

○御質問

- Q ダイオキシンを“ppm”で表示しているのを見たことがありますが、間違いですか。
 A “ppm”は濃度の表示ですが、ダイオキシン類の場合、一般的には毒性を考慮した換算値にTEQを付けて表示します（→p. 28参照）。今回の場合、測定した各異性体の濃度の総量を、毒性換算せずに表示する場合に、“ppm”で表示していたものと考えられます。なお、1 ppmは水1ℓに1mgの物質が含まれたときの濃度ですので、ダイオキシン量としてはかなり高濃度のものです。

○御意見・御感想

- ダイオキシンの発生メカニズムは焼却施設であるとして、その対処法を述べているが、焼却灰を持ち込む処分場に生じる有害物質関係にふれていない点は時代錯誤に陥ってはいないか。効率的な環境行政手腕を望む。（60歳代、主婦）
- 発生源の70%が廃棄物の焼却によるものであることは分かるが、これは総論のため具体的行動に結びつかないと思う。廃棄物中のダイオキシンの発生量の多い品名を公表してほしい。（50歳代、企業環境担当者）
- 廃棄物の発生抑制は業者の自主管理では進まない。焼却炉で発生するのだから焼却量を減らすことを考えるべきだ。技術による対策はごみをいくらか出してもかまわないと思わせる。（40歳代、NGO関連）
- この現状をよく認識し、発生源の対策に活かすべきであると思う。（60歳代、県内在住）
- 環境悪化が少しずつでも進んでいることにおそれを感じる。（60歳代、県内在住）
- パンフの内容が暖かい。市民運動などの紹介もあり、行政と市民で一緒に環境を良くして行こうという雰囲気が感じられた（30歳代、主婦）

今後とも、いただいた御意見等を反映し、よりよいレポートづくりをめざしていきたく考えております。御意見・御感想及び御質問をいただきたくお願いいたします。